

アスリート支援の最前線 指導・評価・リコンディショニングの 実践セミナー

2026 / 3/14 (土) 13:00 ~ 19:00

セミナー概要

トヨタ記念病院 トヨタアスリートサポートセンターより、
村田先生と佐藤先生をお招きし、現場で必要な実践的な知識と技術についてご講演いただきます。
選手が状況に応じて動きを選択できるようにするための指導・環境づくりの視点や、球技スポーツに
多い膝関節外傷後のリハビリテーションにおけるストレンジス＆コンディショニングの考え方など、
現場支援に直結する内容を講義と実技を通して学べる貴重な機会です。

WAYFINDING ~「教える」から「環境をデザインする」へのパラダイムシフト~



講師：村田 祐樹（むらた ゆうき） PhD., JSPO-AT, CSCS

スポーツ指導の現場では、コーチ（教師）主導の一方向的な指導から、選手（生徒）自身が身体感覚や状況に応じて判断し、行動を選択できるよう促す指導への転換が求められている。その背景には、競技種目の特性を詳細に分析し、構成要素に分解するアプローチ（要素還元主義）が、スポーツや身体活動が本来もつ要素間の複雑な関係性や全体的な構造（構造主義）を見落としているのではないか、という問題意識がある。本セミナーでは、構造主義の概念を、演者がトレーニングやアスレティックリハビリテーションにどのように適用しているかについて、具体的な事例を交えながら解説する。



球技スポーツにおける膝関節外傷後のリハビリテーションにおけるSCの役割

講師：佐藤 桃子（さとう ももこ） MS., JSPO-AT, CSCS

サッカーやラグビー、バスケットボールなどの球技では、前十字靱帯損傷や半月板損傷といった膝関節のスポーツ外傷・障害が比較的多く発生し、当院にも多くの選手が来院しています。受傷後の競技復帰に向けたリハビリテーションの過程では、ストレンジス＆コンディショニングの視点が重要であり、段階的な負荷設定や動作評価を通じて安全かつ効果的な復帰を支援することが求められます。本講演では、臨床スポーツ医学の知見と現場での実践を融合させ、競技復帰支援におけるSCの役割と可能性を具体例とともに紹介します。

開催場所

Tokai Functional Fitness Center
愛知県名古屋市中区新栄2丁目47-50
中央本線老松高架下

受講料

10,000円

定員

20名

お申込み

itamitougoki.lab@gmail.com